

フリガナ おこさまの おなまえ	生年 月日	年	月	日	記入日	年	月	日
通学・ 通園先	医療 機関	服薬 朝・昼・夕・眠前						

＜記入者の方へ＞

- ・お子様の発達度合や年齢に関わらず、当てはまる項目には○をつけてください。
- ・できる時とできない時があり回答に迷う場合は、「できない時」に基づいて回答してください。
- ・直近1か月のあいだに該当する行為が見られない場合は、「介助なし」「支援不要」にしてください。

記入者
氏名

お子様と
の関係
・所属

保護者以外が記入している場合、右に内容を確認した保護者のサインをお願いします。

保護者
署名

● 食 事 [0. 介助なし 1. 一部介助 2. 全介助]

- ・食事の始まりから終わりまでの一連の行為について、どの程度の支援や配慮が必要かを選んでください。
一連の行為の例… はしやスプーンで食べ物や飲み物を口まで運ぶ、飲み物や汁物を口まで運ぶ、肉をひと口大に切ったり魚の骨を取ったりする、調味料を食べ物にかけ、など。
- ・経管栄養（胃ろう、腸ろう等）や中心静脈栄養を行っている場合は、「2. 全介助」になります。

● 排 せ つ [0. 介助なし 1. 一部介助 2. 全介助]

- ・トイレに行きたがる場所から後始末までの一連の行為について、どの程度の支援や配慮が必要かを選んでください。
一連の行為の例… トイレに行きたがる、トイレまで行く、衣服の上げ下げ、排せつ物を水で流す、おしりを拭く、トイレや衣服が汚れた場合の後始末、など。
- ・清拭（おしり拭き）がうまくできず、いつも保護者がやり直してあげなければならない場合は、「2. 全介助」になります。

● 入 浴 [0. 介助なし 1. 一部介助 2. 全介助]

- ・入浴の始まりから終わりまでの一連の行為について、どの程度の支援や配慮が必要かを選んでください。
一連の行為の例… 衣服を脱ぐ、入浴用品や着替えを準備する、シャワーを使う、浴そうに入浴する、身体や顔や髪を洗う、身体や顔や髪を拭く、衣服を着る、など。
- ・医療上の理由などにより入浴が行えない場合は、「2. 全介助」になります。
- ・身体や顔や髪について、洗ったり拭いたりすることがうまくできず、いつも保護者がやり直してあげなければならない場合は、「2. 全介助」になります。

● 移 動 [0. 介助なし 1. 一部介助 2. 全介助]

- ・日常生活上の必要な場所への移動について、どの程度の支援や配慮が必要かを選んでください。
移動の例… 食事のための移動、トイレのための移動、入浴のための移動、通園のための移動、など。
- ・医療上の理由などにより移動が行えない場合は、「2. 全介助」になります。

● コミュニケーション [0. 支援不要 1. 支援が必要な場合がある 2. 常に支援が必要]

- ・他者に対する自分の意思の伝達について、どの程度の支援が必要かを選んでください。
具体例… テレビで覚えたセリフを繰り返す、会話がオウム返しになる、吃音がある、保護者など特定の人にしか意思を伝えられない、など。
- ・手話や点字、ICTやPECSなどを用いてコミュニケーションを行う場合は、「1. 支援が必要な場合がある」になります。
- ・外国語でのコミュニケーションしかできず、翻訳等の配慮が必要な場合は、「1. 支援が必要な場合がある」になります。

● 説明の理解 [0. 支援不要 1. 支援が必要な場合がある 2. 常に支援が必要]

- ・他者から口頭で受けた説明の理解について、どの程度の支援が必要かを選んでください。
具体例… 簡単な口頭での説明に反応を返さない、返事はするが説明を理解できていない、1つのことはできるが同時に2つ以上のことを指示されると難しい、など。
- ・手話や点字、ICTやPECSなどを用いるとおおむね理解できる場合は、「1. 支援が必要な場合がある」になります。

● 大声・奇声を出す [0. 支援不要 1. 支援が必要な場合がある 2. 常に支援が必要]

- ・周囲の迷惑になってしまうほど、大声や不快な音を立てる行動について、どの程度の支援が必要かを選んでください。

● 異食行動 [0. 支援不要 1. 支援が必要な場合がある 2. 常に支援が必要]

- ・食べられないものを口に入れたり飲み込んだりする行動について、どの程度の支援が必要かを選んでください。

● 多動・行動停止 [0. 支援不要 1. 支援が必要な場合がある 2. 常に支援が必要]

- ・特定の対象への強い興味関心から、多動や行動停止に至ってしまうことについて、どの程度の支援が必要かを選んでください。

● 不安定な行動 [0. 支援不要 1. 支援が必要な場合がある 2. 常に支援が必要]

- ・不安や恐怖や焦燥から、パニックや衝動的行動に至ってしまうことについて、どの程度の支援が必要かを選んでください。

● 自らを傷つける行為 [0. 支援不要 1. 支援が必要な場合がある 2. 常に支援が必要]

- ・自分の身体を傷つけてしまう行為について、どの程度の支援が必要かを選んでください。

● 他人を傷つける行為 [0. 支援不要 1. 支援が必要な場合がある 2. 常に支援が必要]

- ・他人の身体や心を傷つけてしまう行為について、どの程度の支援が必要かを選んでください。

ウラヘ →

不適切な行為	[0. 支援不要 1. 支援が必要な場合がある 2. 常に支援が必要]
・興味関心が優先したり、適切な意思表示ができなかったり、判断能力が不十分だったりするために不適切な行為へ至ってしまうことについて、どの程度の支援が必要かを選んでください。 具体例… 見知らぬ他人であっても身体を触ったり抱き着いたりする、他人のものを断りなく持って行ってしまふ、すぐにかんしゃくを起し周囲とトラブルになってしまう、SNSで不適切な内容を発信する、場所を問わず性器をいじってしまう、など。	
突発的な行動	[0. 支援不要 1. 支援が必要な場合がある 2. 常に支援が必要]
・興味関心の優先や危険認識の欠如によって突発的に行動してしまうことについて、どの程度の支援が必要かを選んでください。	
過食・反すう等	[0. 支援不要 1. 支援が必要な場合がある 2. 常に支援が必要]
・飲食の量、飲食の拒否、強い偏食など、食に関する行動上の問題について、どの程度の支援が必要かを選んでください。	
てんかん	[0. 支援不要 1. 支援が必要な場合がある 2. 常に支援が必要]
・てんかんについて、どの程度の支援が必要かを選んでください。 ・診断を受け服薬を続けている場合は「2. 常に支援が必要」に、経過観察のみの場合は「1. 支援が必要な場合がある」になります。	
そううつ状態	[0. 支援不要 1. 支援が必要な場合がある 2. 常に支援が必要]
・そう状態、うつ状態、睡眠リズムについて、どの程度の支援が必要かを選んでください。	
反復的行動	[0. 支援不要 1. 支援が必要な場合がある 2. 常に支援が必要]
・こだわりのために特定の行為を繰り返す行動について、どの程度の支援が必要かを選んでください。	
対人面の不安緊張 集団への不適応	[0. 支援不要 1. 支援が必要な場合がある 2. 常に支援が必要]
・強い緊張や感覚過敏のために社会生活上生じる困難について、どの程度の支援が必要かを選んでください。	
読み書き	[0. 支援不要 1. 支援が必要な場合がある 2. 常に支援が必要]
・文字を介したコミュニケーションについて、どの程度の支援が必要かを選んでください。 ・外国語の読み書きしかできず、翻訳等の配慮が必要な場合は、「2. 常に支援が必要」になります。	

以下 障害者福祉課記入欄

※下表に0～2の判定結果及びその判断根拠を記入する。
 ※現状に基づいたサポート調査判定から、通常の発達において必要とされる介助等を除き、給付決定時調査判定を行う。

担当者
氏名

調査項目		サポート調査判定		給付決定時調査判定	
		判定結果	備考	判定結果	備考
①	食 事	[0. 介助なし 1. 一部介助 2. 全介助]			
②	排 せ つ				
③	入 浴				
④	移 動				
⑤	コミュニケーション	⑩	[0. 支援不要 ⇒0点 1. 支援が必要な場合がある ⇒1点 2. 常に支援が必要 ⇒2点]	⑤	強いこだわり、多動、パニック等の不安定な行動や、危険の認識に欠ける行動 【対応項目… ⑦ ⑨ ⑩ ⑭ ⑮】
⑥	説明の理解	⑩			
⑦	大声・奇声を出す	⑤			
⑧	異食行動	⑥		⑥	
⑨	多動・行動停止	⑤		⑦	自分を叩いたり傷つけたり他人を叩いたり蹴ったり、器物を壊したりする行為 【対応項目… ⑪ ⑫ ⑬】
⑩	不安定な行動	⑤			
⑪	自らを傷つける行為	⑦			
⑫	他人を傷つける行為	⑦		⑧	気分が憂鬱で悲観的になったり、時には思考力が低下する 【対応項目… ⑰】
⑬	不適切な行為	⑦			
⑭	突発的な行動	⑤		⑨	再三の手洗いや繰り返しの確認のため日常動作に時間がかかる 【対応項目… ⑱】
⑮	過食・反すう等	⑥			
⑯	てんかん	⑤		⑩	他者と交流することの不安や緊張、感覚の過敏さ等のため外出や集団参加ができない。また、自室に閉じこもって何もしないでいる 【対応項目… ⑤ ⑥ ⑱】
⑰	そううつ状態	⑧			
⑱	反復的行動	⑨		⑪	学習障害のため、読み書きが困難 【対応項目… ⑳】
⑲	対人面の不安緊張・集団への不適応	⑩			
⑳	読み書き	⑪			
			合計	点	

◆個別サポート加算 I チェック

- (サポート調査判定結果で①～④のうち、3つ以上が「3. 全介助」となる。
 サポート調査判定結果で⑤～⑳の合計点数が13点以上になる。)